

<2019年度 ハローオリンピック事業>
オリンピック教室

実施報告書

群馬県 高崎市立八幡中学校



「オリンピック教室」の実施にあたって

現行の学習指導要領から、中学校「保健体育 体育分野」及び高等学校「科目 体育」における「体育理論」の領域で、文化としてのスポーツやオリンピック・ムーブメントの意義を学ぶことが示されました。中学校3年生では、「オリンピックや他の国際的なスポーツ大会などは、国際親善や世界平和に大きな役割を果たしている」現状を通して、オリンピックの意義を学習することになっています。そこで、JOCでは、中学校3年生の体育理論の学習に先がけ、その内容を事前に啓発する目的で中学校2年生を対象に、平成23年度から「ハローオリンピズム事業」の一つとして、授業形式で行う「オリンピック教室」を実施してきました。

近代オリンピックの創始者ピエール・ド・クーベルタンは、人間本来の資質を高めるために、スポーツと文化と教育の側面を持つオリンピックの価値を広めることが相応しいと考え、オリンピック・ムーブメントを推進してきました。JOCもこの価値を若い世代に語り継ぐことは、極めて重要で大切な活動と考えております。日本代表としてオリンピックに出場した選手（オリンピック）は、その榮譽を自覚し、競技面だけでなく社会生活の上でも、模範となる行動が求められますが、オリンピックがその価値を直接生徒に伝えることで、日頃の授業では味わうことの出来ない感動が生まれることが期待されます。

「オリンピック教室」の授業では、教師役のオリンピックが、オリンピック大会出場に至るまで、あるいは、実際にオリンピック大会に出場して得た貴重な経験等を通して、「エクセレンス」、「フレンドシップ」、「リスペクト」、「努力から得られる喜び」、「フェアプレー」、「他者への敬意」といったオリンピックの価値（バリュー）等を伝えます。同時に、この価値がオリンピックに出場した選手だけのものではなく、多くの人々が共有し日常生活にも活かすことのできるものであること、さらに、こうした考え方があるからこそオリンピックに価値があることを生徒自身が学ぶこともねらいとしております。

平成29年3月公示の新学習指導要領では、新しい時代に求められる資質や能力を子供たちに育むために、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業の工夫や改善が求められています。「オリンピック教室」でのふれあいの中での学びが、教科の枠を越え、これからの社会や人生に活かせる資質や能力を育む一助になることを期待しております。また、この授業を通して、生徒の皆さんが、運動やスポーツが好きになり、生涯にわたり豊かなスポーツライフの実現につながることも願っています。

令和元年5月

公益財団法人 日本オリンピック委員会

- 実施目的** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）が教師役となり、オリンピック自身の様々な経験を通して「オリンピズム」や「オリンピックの価値」等を伝えると同時に、この価値はオリンピックだけのものではなく、多くの人々が共有し、日常生活にも活かすことの出来るものであることを学習してもらう
- 名 称** : JOCオリンピック教室
- 主 催** : 公益財団法人 日本オリンピック委員会
- 後 援** : スポーツ庁
- 協 力** : 公益財団法人JKA、開催地自治体及び同教育委員会
- 対 象** : 中学2年生
- 講 師** : オリンピアン（オリンピック出場経験アスリート）
※派遣オリンピックはJOC側にて選定
- 期 間** : 2019年4月～2020年3月 ※原則、平日開催
- 実施校数** : 80校程度
- 実施方法** : クラス単位を基本とし、2コマで1セットの授業

1時限目
運動の時間 (50分)



2時限目
座学の時間 (50分)



※学校の通常の授業時間をベースに実施
※運動の時間と座学の時間の間に10分の休憩時間があります

1時限目

運動の時間

オリンピックの専門競技の技術指導（＝スポーツ教室）ではなく、
運動が苦手な生徒も参加できるように工夫されたもの

挨拶（5分）

準備体操（10分）

主運動（30分）

まとめ（5分）



自己紹介
今日の学習内容の確認



準備体操



主運動
（作戦タイム等を設け、
生徒が考える機会を作る）



運動の授業のまとめ

※時間は目安です

※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

2時限目

国際オリンピック委員会（IOC）が推進する「オリンピックの価値」等を、
オリンピックがオリンピック競技大会出場に至るまで、あるいは実際に
オリンピック競技大会に出場した経験等を通して、分かり易く伝えると
同時に、生徒自身が自分ごととして捉え、今後に活かせるような学習内容

座学の時間

挨拶・自己紹介（10分）

オリンピックの価値を伝える（10分）

グループワーク（20分）

まとめ（10分）



学習内容の確認



写真・映像等を使用
した自己紹介



オリンピック自身の経験に
基づく「オリンピックの価値」等
を伝える



グループ（個人）ワークで
話し合った内容を発表



全体のまとめ/記念撮影

※時間は目安です

※内容はオリンピックによって多少変動する場合がございます

実施内容

■期 日 : 2019年9月13日 (金)

■ク ラ ス : 2年2組 (38名)

■オリンピアン : 山岡 聡子 先生 (スキー/スノーボード) 【出場オリンピック/トリノ大会、バンクーバー大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (1時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



- ・今日は、オリンピックを学んでもらながら皆とオリンピックがどう繋がっているのか、オリンピックを日常生活に生かす方法を見つけてもらいたいと伝える。
- ・運動の時間は、「全力で取り組むこと」「友達と協力すること」「ルールを守ること」を意識して、楽しく取り組みましようと呼びかけ、準備体操に移る。

2. 準備体操



3. 主運動



- ・8の字跳び (90秒×3回) を実施。2班ずつ3チームに分かれ、制限時間内に跳べた最高回数を競う。引っかけたら0から数え直すこととする。
- ・各回終了後に、目標回数を決め、どうしたら記録を伸ばせるか作戦タイムを設けて話し合う。

4. まとめ



- ・オリンピックバリューに沿って「全力で取り組むこと」「友達と協力すること」「ルールを守ること」、そして「楽しむこと」を達成できたか確認。
- ・次の座学の時間では山岡先生が競技生活やオリンピックで体験したこと、オリンピックと今の日常生活がどのように繋がっているかを伝えると予告し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（2時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・競技生活を通して感じたことや学んだことを話し、皆と一緒にオリンピックについて考えたいと授業の目的を確認。
- ・山岡先生の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、諦めない、ベストを尽くす、努力する」、「フレンドシップ＝友情、協力、チームワーク、お互いを理解する」、「リスペクト＝敬意/尊重、ルールを守る、フェアプレー、感謝、思いやり」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



発問：日常生活で取り組みたいことや将来の夢や目標を達成するために自分に何が出来るか、何が必要なのか、オリンピックバリューに当てはめて考えよう。

発表：「保育士になるために、勉強を頑張る」「部活の団体戦等で活躍するために毎日の練習を一生懸命努力し、自分の試合の後も応援する」(エクセレンス)
 「新人戦で部員が一丸となって怪我をした人の分までカバーして県大会に行きたい」「チームに声をかける」(フレンドシップ)
 「思いやりの心を忘れない様にする」「人に親切にする」(リスペクト)

4. まとめ



・オリンピックバリューは選手だけのものではなく、皆の日常生活にも生かせるので、より良い人生を送れるように、オリンピックバリューを意識して生活してほしい。やりたいことや、なりたい姿に向けて、今何ができるか考えて取り組んでほしいと伝え、授業終了。

実 施 内 容

■期 日 : 2019年9月13日 (金)

■ク ラ ス : 2年1組 (38名)、2年3組 (37名)

■オリンピアン : 田中 和仁 先生 (体操/体操競技) 【出場オリンピック/ロンドン大会】

■授業のながれ : 運動の時間 (3時限、5時限)

1. 自己紹介～授業の目的確認



2. 準備体操



・今日は運動と座学を通じて、オリンピックバリュー (エクセレンス、フレンドシップ、リスペクト) に触れながら田中先生がオリンピックを通じて、経験したことや感じたことを伝えたいと授業の流れを確認。運動の時間では身体を動かしてスポーツを楽しみましょうと話し、準備体操に移る。
・雑巾がけをしてから、柔軟体操、じゃんけん勝ち抜けを実施。

3. 主運動



・馬跳び (70秒×2回) を実施。全員が跳んだ合計回数を競う。間に作戦タイムを設けて、回数を増やすための作戦を各チームで考える。

4. まとめ



・次の座学の時間では、田中先生がオリンピックに出場するまでや、競技の中で学んだこと、運動の時間のことも踏まえてオリンピックバリューについて話をしていくと予告し、授業終了。

■ 授業のながれ：座学の時間（4時限、6時限）

1. 自己紹介と授業の目的を確認



- ・田中先生が体操競技やオリンピックを通して感じたことを説明すると授業の目的を確認。
- ・田中先生の経験を通じて感じたオリンピックバリューについて「エクセレンス＝卓越、ベストを尽くす、練習は試合のように、試合は練習のように、諦めない」、「フレンドシップ＝友情、チームワーク、仲間、思いやり、兄弟（仲間）を大切に、ライバル」、「リスベクト＝敬意/尊重、感謝、フェアプレー、周りの支え、両親への感謝」と説明。

2. オリンピックの価値を伝える



3. グループワーク



- 発問：体育祭のクラス対抗種目で優勝するために意識したいことや取り組みたいことをオリンピックバリューに当てはめて考えてみよう。
 （長縄跳び、全員リレー、ボール運びリレー）
- 発表：「最初から最後まで全力で走る」「練習を本番のように取り組む」「バトンパスで全員がスムーズにパスできるようにあらかじめ練習に取り組む」
 「中途半端な気持ちで挑まない」（エクセレンス）
 「失敗しても責めないで声を掛け合う」「連続で跳べるように協力する」「思いやりをもってどのクラスが勝っても称賛を忘れない」（フレンドシップ）
 「相手に良いプレーがあったら拍手」「周りの人の支えに感謝する」「対戦してくれる相手に感謝し正々堂々と戦う」（リスベクト）

4. まとめ



- ・自分が持っている夢を大切に、自分に足りないものは何か、それを補うために必要なことは何か、自分の得意なことをさらに底上げするためにできることは何かを考えてほしい。壁にぶつかることもあるが、夢を叶えたいという気持ちを持って乗り越えることができる。今はまだ夢がない人も夢を見つけ、自信を持って自分の夢を言えるようになってほしいと伝え、授業終了。

■ 集合写真
2年1組



2年2組



■ 集合写真
2年3組



■ 記念品贈呈
2年1組



2年3組



2年2組



■ 修了証贈呈

